

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 9 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	ユニット出入り口は開放しているときもあるが、施錠している時間が多い。	言葉による拘束の理解は深めているが、ユニット出入り口の施錠を含めた身体拘束をしないケアを取組む。	ユニット扉に関しては職員がいる時間を考慮し解除する時間を少なからず設けているが、一日の流れを再度検討し開放時間を増やす。	3 ヶ月
2	50	自身で金銭管理されている方が少なく、買い物に行く機会がを設けているが、限られた入居者のみとなっている。	一人一人の能力を最大限に活かし、個別の外出や買い物する方を増やしていき、社会生活の意欲を高めていく。	個別に買い物が行ける時間を増やせるよう一日の流れを再度見直す。又、喫茶チャリン等を回覧し外出の意欲を高めて頂く。	6 ヶ月
3	13	本部が実施している教育体制は整備されているも、事業所間で各職員に対しての指導体制が整っていない。	職員一人一人の力量を把握し、事業所内で各個人の能力に沿ったトレーニング方法を実践していく。	1年間を通して目標を設定し、目標達成に向けてサポートしていく。介護未経験者、又は不安を感じる職員に関しては本部が実施している技術研修に参加してもらいスキルアップに繋げ、現場では指導担当者を配置しサポートしていく。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。